



農林中央金庫



2025 年 11 月 14 日
株式会社バローホールディングス
農 林 中 央 金 庫

株式会社バローホールディングスとの 「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の契約締結について

農林中央金庫(代表理事理事長：北林 太郎、以下「当金庫」と)と株式会社バローホールディングス(代表取締役会長兼 CEO：田代 正美、以下「バロー」)は、ポジティブ・インパクト・ファイナンスⁱ (以下「PIF」) による金銭消費貸借契約(以下「本ローン」)を 2025 年 10 月 14 日付けで締結いたしましたので、お知らせいたします。

本件は、「バローグループは、持続可能な社会の実現に向け、事業活動を通じた全員活動によって地域社会の発展と社会文化の向上に貢献します。」というバローのサステナビリティ・ビジョン 2030 の実現を一層支援するべく、「持てるすべてを『いのち』に向けて。」というブランドメッセージを志向する金庫として、今般、第二弾となる PIF を実行したものです。

本ローンは 2024 年 12 月 19 日付けで締結した PIF と同一の評価書を用いており、バローに対する PIF の組成は本ローンにて累計 2 件目となります。また、株式会社日本格付研究所(以下「JCR」)よりポジティブ・インパクト金融原則ⁱⁱへの適合性や、評価指標の合理性について第三者意見ⁱⁱⁱを取得しています。

バローは、1958 年より「創造・先取り・挑戦」を経営理念とし、スーパーマーケットをはじめ、ホームセンター、ドラッグストア、スポーツクラブ等を展開しております。多様な機能をグループ企業で補完する流通システムを核に、製造から流通・販売までを一貫して担う「製造小売業」としてのビジネスモデルを確立しています。また、バローの「サステナビリティ・ビジョン 2030」では、事業活動の持続性をいかに担保するか、事業活動が社会・環境へ及ぼす影響を適切にマネジメントしながら持続可能な社会をどう実現するかという 2 つの観点から、サステナビリティ・マネジメントに取り組んでいます。

当金庫は農林水産業を支える協同組織の一員として、自らのビジネスが、農林水産業の営みによる「いのち」や自然の循環・地域社会における人々の豊かな暮らしとともにあることを認識したうえで、サステナブル・ファイナンス等の事業を通じた環境・社会課題の解決を目指しています。本ローンを通じ、関東・関西進出を始めとしたバローの成長戦略の実現・事業活動の拡大・サステナビリティへの取組みを今後も支援してまいります。

当金庫が本ローンを PIF として契約締結するにあたり、バローの企業活動におけるインパクトを包括的に分析・評価し決定したインパクトエリア・トピック並びに目標・KPI は 2024 年 12 月 19 日付けで発出した『株式会社バローホールディングスと「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の契約締結について^{iv}』をご確認ください。

本件に関するお問い合わせ先

農林中央金庫 名古屋支店

TEL : 052-201-6111

株式会社バローホールディングス 管理本部 広報室

TEL : 0574-60-0858

以 上

ⁱ 「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」は、企業活動が経済・社会・環境に及ぼすインパクトを包括的に分析・評価し、ネガティブ・インパクトの緩和とポジティブ・インパクトの増大に向けた取組みを金融面から支援するものです。当該取組みについて評価指標と目標を設定のうえ、モニタリングを通じてその実現に向けた継続的なエンゲージメントを重視したファイナンスです。

ⁱⁱ 本原則は、SDGs (持続可能な開発目標)の達成に向けた金融機関の資金提供のあり方を定めた金融の枠組みであり、UNEPと世界各地の 200 以上の金融機関で構成された国連環境計画・金融イニシアティブによって 2017 年に策定。企業が SDGs 達成に向けた取組みを開示し、金融機関はその影響を評価してファイナンスを行うことにより、SDGs への貢献を促進していくもの。

ⁱⁱⁱ JCR のウェブサイトをご参照ください。

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

^{iv} 下記リンク先をご参照ください。

https://www.nochubank.or.jp/news/branch_news_release/2024/post-207.html